

竹島小のスローガン

笑顔あふれる
楽しい学校

学校だより

令和3年度 第4号

児童数：225名
筑西市立竹島小学校
令和3年7月12日

有意義な夏休みに

校長 武田 孝彦

週間天気予報を見ると、今週中頃から晴れの予報が多くなり、梅雨明けが間近になってきたようです。月日の経つのは早いもので、1学期も残すところ約1週間となりました。この1学期間、各学年・学級では、協力したり、集中したりして学習に取り組み、生活することができました。また、縦割り班清掃では、高学年の児童が低学年の児童をリードし見守る姿を見ることができました。みんなが思いやりや優しさをもって助け合うことができたと思います。まだまだコロナ禍ではありますが、日頃より、保護者や地域の皆様にご理解とご支援をいただきまして、このように順調に教育的に教育活動が展開できましたこと心より感謝申し上げます。

さて、21日からは42日間の夏休みになります。1年生は初めての長期の夏休みになります。2年生も42日間の休みは初めてです。夏休み期間中は、計画的に学習を進め、規則正しい生活を送ってほしいと思います。ご家庭でも、子ども自身が立てた計画をご覧になっていただき、健康で安全な日々を過ごせるようアドバイスを与えていただくことをお願いいたします。

最後に、この夏休みが、竹島っ子にとって安全で安心して過ごすことができ、思い出多い楽しい日々になりますよう、竹島地区の方々に、ご指導・ご支援いただきながら見守っていただけますようお願い申し上げます。9月1日には全ての児童が、元気に心身ともに成長し、笑顔で登校し楽しい思い出話を聞かせてくれることを楽しみにしております。

6/25 1学期末授業参観

4月の授業参観と同じように、各学級を2つの班に分けて行いました。保護者の方々には、お忙しい中、参観していただきありがとうございますありがとうございました。これからも、子供たちの様子を見ていただく機会をできる限り設けていきたいと思っております。夏休みには、担任との二者面談を計画しております。お子さんのよりよい成長のためにも、有意義な面談にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



6/29 家庭教育学級

1年生の保護者を対象に、家庭教育学級の開級式を行いました。開級式では、社会教育指導員の栗原先生を講師としてお招きし、家庭教育の意義や大切さについて、講話をいただきました。栗原先生からは、子どもの自己肯定感を高めるための親の関わり方についてのお話がありました。自己肯定感とは、自分のありのままの姿を受け止め、自分は生きていく価値がある存在だと肯定的にとらえる気持ちであり、深い愛情にもとづいた関わりの中で育まれるものです。今後も、子育てについて互いに学び合う機会としていきたいと思っております。



6/25 学校評議員会

第1回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会を開催しました。今回は、学校評議員の方への委嘱状の交付、年間の活動予定の確認、授業参観などを行いました。委員の方々からは、第三者的な立場から、学校の運営や教育活動について忌憚のないご意見をいただきました。特に児童の登下校での安全対策や感染症予防の取組等、安全安心な学校づくりに向けて熱心な議論を交わすことができました。



6/24 5年生福祉体験



社会福祉協議会の職員の方にご協力いただき、高齢者や障害を持つ方の疑似体験を行いました。関節にサポーターを巻いたり、足首に重りを付けたり、曇りガラスのようなゴーグルを着用したりして、歩行する体験を行いました。また、アイマスクを着用し、友達の補助を得ながら、杖を頼りに歩行する体験も行いました。さらに、職員の方には、だれもが安心して生活できる社会づくりについてのお話があり、点字ブロックなど私たちの身の回りのさまざまな配慮について学ぶことができました。

6/29 河間小5年生との合同授業

令和5年度に下館中学校と下館北中学校が統合されることに伴い、関係する小中学校において児童生徒の交流活動を計画・実施しています。今回は、河間小学校の5年生が本校に来校し、本校の5年生と合同授業を行いました。初めのうちは互いに緊張している様子でしたが、時間がたつにしたがって、コミュニケーションを取り合いながら楽しく交流する姿がたくさん見られました。



6/30 避難訓練

竜巻が発生した際の避難について、訓練を行いました。屋内への避難、教室の窓とカーテンを閉める、窓から離れる、机やランドセルなどで頭部を守る等、災害から身を守るための方法を学習しました。



竹小ものしりクイズ

右の写真は竹島小の花壇に咲いている花です。さて、何という名前の花でしょう。
ヒント：歌の題名にもあります。



前号の問題の答え ア (やく107m)

